

(別紙様式2)

【特色あるフロンティアスクールの取り組み事例】

都道府県番号	44
都道府県名	大分県

学校名及び規模

()

佐賀関町立木佐上小学										
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数	
学級数	1	1	1	1	1	1	0	6	8	
児童数	4	8	11	9	9	6	0	48		

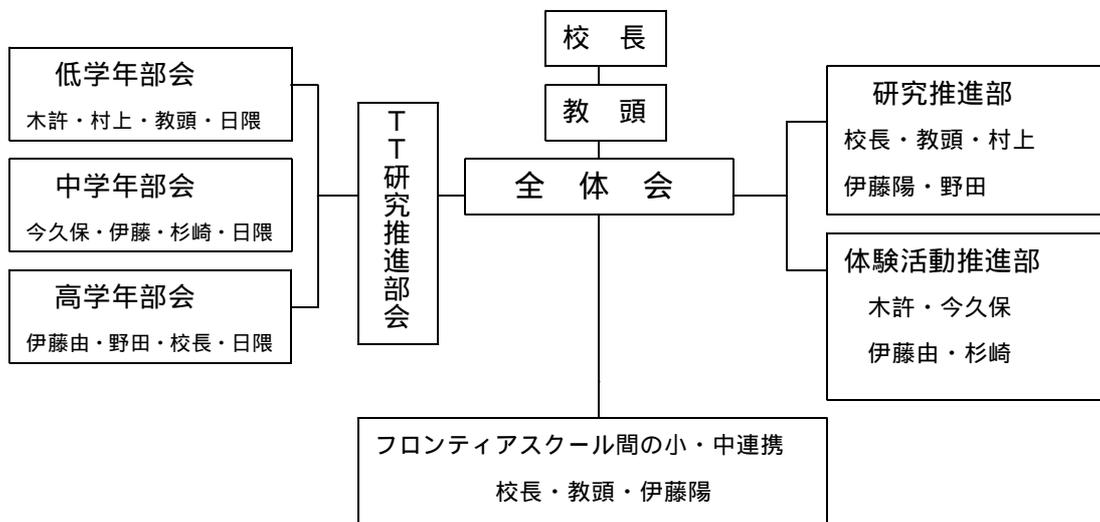
実践研究の概要(主題及び設定の趣旨)

・主題(テーマ)
自ら学ぶ力と豊かな心をもった子どもの育成
 ~生きる力としての基礎・基本の定着を図る指導と評価の工夫~

・テーマ設定の趣旨
 緑豊かな自然環境の中で、子どもたちは明るく素直に伸び伸び育っている。全校児童48名の小規模校で、学年の枠を超えて仲が良く、お互いに協力する姿が見られる。また、地域の方も教育に関心が高く、教育活動にも大変協力的で、地域全体で子どもを育てていこうとする姿勢がある。
 今年度からの新学習指導要領全面実施に伴い、教育の現場には新しい学力観に立った意識の変革が求められている。
 そこで、少人数学級の中で一人ひとりが大切にされる指導のあり方や、教科の基礎・基本の定着を図るための研究等で「自ら学び自ら考える力」を育てていくこと、また地域の良さを生かした体験学習を取り入れ「豊かな心」を育てていくことを課題として、真の「生きる力」の育成を目指した研究を進めていきたいと考える。

実践研究の内容について

() 研究体制の工夫



() 実践研究の内容

自ら学ぶ力を育てる基礎・基本とは

ア．各学年における算数の基礎的・基本的事項の系統性の研究

イ．多様な考えが出し合え、深め合える算数の授業研究

ウ．楽しみながら取り組んでいけるチャレンジタイムの創造

少人数の中でのきめ細やかな指導

ア．算数の授業の中でのよりよいＴＴ指導のあり方の研究

イ．レディネスの様子や授業の理解度・つまずきなどを把握し、授業に生かすことができる
評価・個人データ作成

人の良さが分かり、一人ひとりが大切にされる仲間づくり

ア．自分の思いや考えが出せ、みんなで話し合っている集団づくり

イ．励まし合い・認め合い・助け合いの心を持ち、持てる力が発揮できる支援の工夫

ウ．家庭・地域社会との連携と体験的活動の充実

() 成果と課題

成果

- ・ 5月からの非常勤職員の加配により、個別指導を必要とするA児の算数指導と各学年の算数でのＴＴ指導を行うことができ、これまで以上に個に対応したきめ細やかな指導ができ、学習意欲が向上した。
- ・ 今年度初めてのＴＴ指導に取り組んだが、学習内容や子どもの反応に応じていくつかのパターンを考えていった。
- ・ 研究授業では、考えを深め合う場面を設定し、お互いの考えが見えやすいよう提示の工夫をし、どの子の意見も大切にしながら、修正したり深めたりしていった。また、授業分析表をもとに深めあいのステップを考えたり、授業後一人の子の反応を分析したりすることができた。
- ・ チャレンジタイムの実施により、異学年と一緒に楽しみながら積極的に計算問題に取り組む姿が見られた。また、その問題作りでは、教師が基礎となる内容や学年の系統性などを把握できた。

課題

- ・ 学期ごとの個人観点別成績処理を行っているが、3学期のデータが出ていないこと、また、学力診断テスト2月の結果が出ていないことなどから、今の時点では客観的な成果は出せていないが、個人カルテとして来年度の指導に生かしたい。
- ・ 感想を書かせたり自己評価をさせたりして、学習を振り返る機会が増えたが、教師がどのように個人評価を指導に生かしていくかを検討していかなければならない。

() 成果の普及方策

北海部郡（佐賀関町）内のフロンティア指定校との研究交流

佐賀関教育研究会の中での成果等の普及

「研究主任・研究部長合同研修会」 8 / 1

テーマ 「研究内容の還流と各教科の基礎・基本のとらえ」

対象 各校研究主任・教科部会各部長・佐賀関教育研究会事務局員

「校長・教頭合同研修会」 8 / 7

テーマ 「学力向上フロンティアスクールの指定を受けて」

対象 各校校長・教頭

「地教委・校長合同研修会」 8 / 19 ~ 20

テーマ 「学力向上フロンティアスクールの指定を受けて、本校が目指している
取り組み」

対象 町教育委員・各校校長

ホームページ <http://sag-kisagami-e.oit.ed.jp>